
横浜市舞岡ふるさと村総合案内所 「虹の家」が20周年を迎えました

【横浜川崎支部】 横浜川崎地区農政事務所 地域農政推進課

横浜市戸塚区にある「舞岡ふるさと村」は、事業開始から約四半世紀が経過し、都市住民との交流の核となる総合案内所「虹の家」は本年度で20周年を迎えました。

現在も大都市横浜の中で農風景を守りつつ、地域が連携し活発な活動を展開している「舞岡ふるさと村」を紹介します。



1 地域の状況

「舞岡ふるさと村」は、横浜駅から横浜市営地下鉄で約25分の「舞岡駅」から徒歩数分のところにあります。約103ヘクタールの地域には田畑35ヘクタール、山林24ヘクタールの緑があり、美しい田園風景が保全されるとともに、地域の農業生産者が連携して活発な農業生産が行われています。

ふるさと村内にある農畜産物集出荷貯蔵施設「舞岡や」、農畜産物処理加工施設「ハム工房まいおか」などで、農畜産物の販売を行うほか、季節ごとにさつまいもの掘取り、トマトのもぎとりなどの体験、販売が行われています。

また、営農活動だけではなく、総合案内所「虹の家」が中心となって、年間を通じて、自然体験、農体験など様々な都市住民との交流イベントが実施されています。

平成29年度には、「虹の家」開館20周年を記念し、記念教室、記念展示会、記念イベントが盛大に開催されました。

2 事業の経過・実績

昭和54年 横浜市農業専用地区に指定
平成2年 横浜市ふるさと村に指定
平成2年 舞岡ふるさと村推進協議会発足

導入事業

平成3～6年度 農業農村活性化農業構造改善事業（需要創造型）【国庫】
事業費； 282,000千円
平成6～7年度 経営基盤確立農業構造改善事業（集落タイプ）【国庫】
事業費； 277,000千円
平成2～5年度 農業環境総合整備事業【県単】
事業費； 473,000千円
平成2～8年度 横浜ふるさと村設置事業【市単】
事業費； 1,074,509千円

主な整備内容

高品質堆肥供給施設（160㎡）、農畜産物処理加工施設「ハム工房まいおか」（190㎡）、
農畜産物集出荷貯蔵施設「舞岡や」（100㎡）、ふれあい広場（4,187㎡）、
散策路（140m）
地域農業総合管理施設「虹の家」（620㎡）、農作業管理休養施設（40㎡）、
ほ場整備（10.1ha）、農道整備（1,210m）、灌漑排水施設（435m）
畑地灌漑施設（4.5ha）、暗渠排水（1.8ha）、農地造成（2.0ha）、集落道（250m）
集落防災安全施設（1,414㎡）
体験温室（8,054㎡）、防鳥防蛾網（21,550㎡）、観光養鶏施設（55a）ほか

平成9年 地域農業総合管理施設「虹の家」オープン



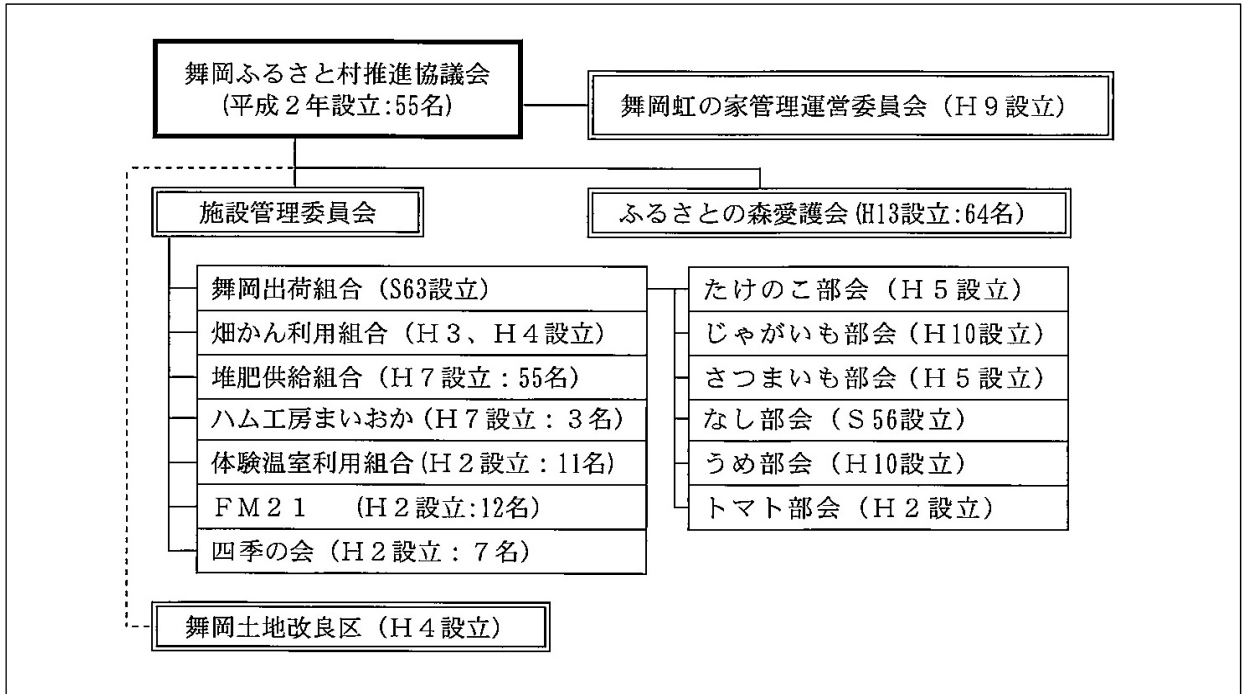
虹の家



ふるさと村内の水田（虹の家提供）

3 現在の活動状況

組織図（平成 29 年度舞岡ふるさと村推進協議会総会資料より）



平成 28 年度の交流イベント等の実績

（平成 29 年度舞岡ふるさと村推進協議会総会資料より）

- ・ 専門部会の活動
農産物、加工品の販売、さつまいも栽培教室他
- ・ 市民交流イベント
さつまいも掘り、たけのこ掘り、トマトもぎ、加工品販売他
- ・ 虹の家の主な活動
そば打ち体験、味噌づくり、自然観察会、野鳥観察会他 計 93 回 参加者計 1,340 人
- ・ 虹の家の年間来館者数 35,342 名

【 20 周年記念イベントの様子（平成 29 年 5 月） 虹の家提供 】

